

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立東備支援学校	実践者名	小林 洋貴
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元名	藍染をしよう（本時：藍の生長を観察し、記録をしよう）		
学習目標	植物（藍）の生長過程が分かり、育てた藍を活用して、藍染めをすることができる。		
対象の児童 生徒の実態	植物を観察して、生長過程を知る学習経験が乏しい。しかしながら、植物を育てることに興味がある。また、タブレットを活用することに興味がある。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
使用アプリ：Keynote, カメラ		名前	
＜単元構成の概要＞		4月25日() °C	
畑に藍を播種し、タブレット端末を活用してその生長を観察・記録する。更に、育てた藍の葉を収穫し、地域の方に協力していただき、藍染めを行う。原材料の栽培から、染め物までの工程を地域の方と協働して体験する活動を通じて、染め物に関する知識や理解を深めることを学習の主なねらいとして設定している。			
＜生徒の知識・理解を深めるための工夫＞		たねを まきました！	
藍の生長過程についてタブレット端末を活用し観察・記録する学習活動は、その生長と学びの過程をいつでも視覚的に振り返ることができ、学習効果を高めることができると考える。		名前	
生長や変化する対象物について観察・記録をする学習は、タブレット端末を活用することで、本時のみならず、単元全体を通じて、適時、振り返ることができ、知識や理解を深めるために効果的であると考え学習活動に導入した。		5月2日(月) 20°C	
記録のコメントはペンで書いたり、入力したり生徒の実態に応じた方法で作成した。			
		はっぱ	
		ちいさいみどり	
		うれしい	
活用のポイント・改善策等			
植物の生長を写真撮影機能で記録し、その過程を確認する学習を行うことで、生長について、知識や理解を深めることをねらっている。また、栽培を通して、葉の様子や感触、色について文字で記録するよう教師が促すことで、文字で表現する能力の向上もねらっている。			
引き続き、文字の入力や写真撮影の技能に習熟する指導も行い、より生徒自身が主体的に課題に取り組もうとする意欲を育てたい。			